

郵趣振興協会 活動報告 (36)

第 9 期 (2025 年度) 第 4Q

2025 年 12 月 5 日～ 2026 年 3 月 17 日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会(以下「当協会」と略す。)は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で正会員・賛助会員にお伝えすると共に、無料で掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

第 1 回郵趣振興大賞の受賞者は高崎真一氏に決定

2025 年度の新しい事業として、『郵趣振興大賞』を創設しました。

このたび第 1 回 (2025 年度) 郵趣振興大賞は、高崎真一氏に授与することに決定しました。



会員から複数人の推薦を受けておりましたので、選考委員会からの候補者選定結果答申を受け、理事会において審議し最終決定したものです。

高崎氏は、多くの切手収集家が自由に切手を売買できる日本最大級の切手フリーマーケットとなるプラットフォーム「切手市場」を創設して、長年にわたり献身的に運営し継続していることが評価されました。

表彰は、2026年3月28日(土)に日本外国特派員協会(東京駅至近)で開催するジャパン・フィラテリスト・サミット2026の席上において行います。表彰状に加えて、副賞として以下の3点より受賞者の希望により一点の授与を予定しております。

- (1) 「カタログギフト」2万円分
- (2) 「VISA ギフト券」2万円分
- (3) 「全日本切手まつり 2026 金券」2万円分

なお、「郵趣振興大賞」の選定にあたり、当協会は、選考委員会を設置し、山田廉様、有吉伸人様に選考委員へのご就任をお願いしご受託いただきました。その上で、2月8日(日)に委員全員参加により、対面で表彰委員会を開催しました。なお、当協会からの選考委員は、横山裕三理事が務めました。

当協会は、国際展日本コミッショナーをオープン・ディスカッションで決定する会議体を支持することを決定しました。

当協会は、1月6日に、コミッショナー選定会議（世話人：池田健三郎）より、「国際展日本コミッショナー選定プロセス再構築に向けた協力をお願い」の文書を受領しました。

当協会が、コミッショナー選定に関わる依頼を他者より受領したのは、2017年の設立以来2回目のことです。1回目の依頼は、2025年10月20日に佐藤浩一氏（FIP 伝統郵趣委員会 委員長）からの「PHILATAIPEI 2026 コミッショナー選出について」でした。

佐藤氏からのご依頼を受けて、コミッショナー選定会議を設置した当協会は、PHILATAIPEI 2026のコミッショナーをオープン・ディスカッションで12月8日に選定しました。この成果を受けて、同一の枠組みをPHILATAIPEI 2026以降に開催される国際展のコミッショナー選定に採用することに、当協会と（一社）全日本郵便連合が昨年末合意しました。なお会議体の世話人は、両団体から独立して活動しており、かつコミッショナーの経験をもつ池田健三郎氏に委託しました。

今回、池田氏からの依頼への対応にあたり、改めて1月13日に理事会を開催しましたが、『国際展日本コミッショナーをオープン・ディスカッションで決定する会議体の設置自体は日本の郵趣振興を大きく改善させる取組である』との考えにより、同会議体を支持することを決定しましたので、会員の皆様にお知らせいたします。なお、同会議より依頼された呼び掛け人については、理事長の吉田敬を選出しましたので、お知らせします。

本項目は、協会HPにて2026/2/5に報告しており、その中に依頼文書全文も掲載しております。

会員の異動に関するご紹介（2025/12/5 -）

当該期間に、1名の新会員をお迎えすることができましたので、ご紹介させていただきます。頂戴した会費・寄付金につきましては、総会の決議に従い、大切に使用させていただきます。

新入会（正会員）：竹上 幸浩 様

寄付に関する報告

本ニュースレター発行期間内に、当協会に頂戴した寄付は、現金402,000円（20件）です。なお当協会の活動において、会費も寄付的な性格が強いですが、会計上は寄附金とは別項目で計上しています。会費・寄付金のいずれも、郵趣振興に関する公益団体である当協会の活動にご共感いただき頂戴した事業資金になりますので、当協会だけでなく広く郵趣振興の役に立つよう、総会の決議に従い、大切に使用させていただきます。

ジャパン・フィラテリスト・サミット プラチナスponsor費 33万円（スタンペディアオークション髷様）
スタンペックスジャパン運営寄附（1口二千円）へのご協力 19名 合計 72,000円

*スタンペックスジャパン運営寄附へのご協力をいただいた方のご芳名は、公式ガイドブック・会場内ポスター・活動報告書に掲載させていただきます。

各種事業の進捗について（事業進捗の報告者：理事 菊地 恵実）

当協会は5つの事業「エキシビジョン事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」を行っています。当クオーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

エキシビジョン事業

第7回全国切手展 スタンベックスジャパン2026の開催準備

- 12/21 出品申込作品の募集締切
- 12/25 出品申込者に対する、展示アクセプト可否の連絡・事前審査の開始
- 1/1 展示アクセプト作品の発表
- 3/11 公式ガイドブックの発行（1,500部）

ジャパン・フィラテリスト・サミット2026の開催準備

- 1/14 プラチナスポンサーの募集
- 2/19 プラチナスポンサー決定の発表（スタンペディアオークション株式会社様）

フィラテリックPR事業

情報発信を実施（ブログ：12-2月で17件。対前四半期+89%）

(1) 当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催（12月-2月）

- | | |
|------------------|----|
| 日本切手研究会 | 3回 |
| 外国切手研究会 | 3回 |
| 昭和切手研究会 | 3回 |
| 南方占領地切手コレクターズクラブ | 3回 |

(2) 展示

第45回岩沼市民交流フェスティバル（2/14-2/15、岩沼市民会館）に、コレクション「日本の初期の葉書 明治6-7年（Postal Cards of Japan 1873-1874）」（世界切手展グランプリ作品）の展示を行い、解説した（担当：齋享顧問）

その他の活動

第1回の郵趣振興大賞の選定にあたり、表彰委員会を設置。

総務ほか

理事会の開催：12/5, 1/13, 2/19, 3/17

第9期決算準備・第10期予算および事業計画の作成

全日本切手まつり2026（2026/7/18-20）からの後援依頼を承認（2/19）

都庁への年次報告（登録完了）

日常的な経理業務、問い合わせ業務対応

（事業進捗の報告者：理事 菊地 恵実）